



<3年生、今年最後の学力テストを実施>

今週の月曜日、3年生は今年最後の学力テストを行いました。先週には期末テストがあったばかりですが、受験本番期を迎えた3年生にとっては、進路目標を検討するための資料となる大事なテストです。

これまで、7月から学力テストを実施し、その結果をもとに11月の三者教育相談が行われました。その教育相談の中で中心となった話題は、進路目標と現在の自分の学習状況との関係です。進路目標にはまだ届いていないという生徒が大半でした。そのため、目標達成を可能にするためには、後どれくらいの努力が必要になるかを三者で確認しました。そこから約3週間後のテストとなりましたが、すぐには努力の成果は現れないと思います。今回の学力テストの結果、2学期中には分かると思います。大事なことは、1回1回の結果をもとに、しっかり復習することです。

次回の学力テストは年明けすぐの1月4日(金)の予定です。それまでに今回のテスト結果をもとに学習して、1月4日を迎えてほしいと思います。県立学校のⅡ期の出願は2月中旬です。この1月の学力テストが最後の判断材料になります。いよいよ正念場です。

<第2回英語検定の結果>

今週、第2回実用英語検定試験の結果が学校に届きました。今回は、11名の生徒が合格となりました。その内訳は、準2級1名、3級7名、4級2名、5級1名です。3級は中学校卒業程度のクラスですので、これを目標に英語の学習を進めるとよいと思います。準2級は高校中級程度のクラスです。中学生で準2級を合格するのは、なかなか大変です。高校卒業程度のクラスが2級で、大学入試レベルと言われています。

日本人は日常生活の中で英語を使う場面が少ないため、他国と比べると「勉強しているのに話せない、人が多い」と言われています。しかし最近では、いわきでも外国の方が多く生活しており、英語を使う機会は増えていると思います。語学は有効な武器です。特に英語は世界の共通語です。英語力は、将来の活躍の場を広げる大きな手段の1つです。

<「学びのスタンダード推進事業」授業研究会を実施>

11月28日(水)に、県教育委員会の事業である「学びのスタンダード」推進事業の授業研究会が、本校で開催されました。今年度は事業の指定を受けて2年目となり、前年度の取組を踏まえた上で、県教委が作成した「授業スタンダード」をもとにした授業改善等に取り組んできました。また、今年度から新たに「家庭学習スタンダード」をもとにした取組も開始し、家庭学習の充実を図るための実践も行ってきました。

当日は、2年国語、1・3年数学、2年英語の4つの授業を公開し、市内の先生方に参観していただきました。授業後には分科会を開き、県教委指導主事及び中央台南中学校の校長先生から指導助言をいただきました。その後、教育講演会を開催し、早稲田大学教職大学院の教授である田中博之先生から、「資質・能力を育む、授業づくり～主体的・対話的で深い学びを通して～」という題で、これからの授業づくりの方向性やその視点等について、講演をしていただきました。来年度が指定の最終年度となるため、今年度の成果と課題を整理して、次年度の研究につなげていきたいと思っています。



3年2組 数学
「相似な図形」



1年1組 数学
「比例と反比例」



2年2組 国語
「平家物語」



2年1組 英語
「Homestay in the
United States」

<職業講話「地域に学ぶ」を実施>

11月30日（金）の午後に、キャリア教育の一環として、社会で活躍されている地域の方を講師にお招きし、職業講話「地域に学ぶ」を実施しました。講師としておいでいただいた方は次の通りです（生徒はそれぞれ、自分が希望する方のお話を拝聴しました）。

<職業講話「地域に学ぶ」>

- 坂本 昌洋さん（警察官）
- 長谷川吉子さん（看護師）
- 遠藤 紀男さん（元大学キャリアセンター長）
- 滝口 寛美さん（歯科医・歯科衛生士）
- 大平 富夫さん（飲料メーカー）
- 長谷川清司さん（美容師）



生徒たちは、実社会で活躍される地域の方々から、仕事や働くことに対する考え方、働く中での苦労や喜び、働くために必要な力（知識や技能、人間的な力など）を教えていただきました。中学生時代は学習や係活動、部活動などが仕事といってもよいと思います。これらを通して、社会人・職業人として必要な力を磨いていることとなります。今回のお話を1つの目標として、目の前の活動に取り組んでほしいと思います。

<特別支援教育総合作品展に出品>

11月23日（金）～25日（日）に開催された、第38回いわき地区特別支援教育総合作品展に、本校からも3名の生徒が作品を出品しました。天候にも恵まれ、3日間で千名を超える方が来場され、市内の小中学校及び特別支援学校で学ぶ児童生徒の作品を、じっくり鑑賞していました。



<来週から12月（師走）>

早いもので、今週で11月も終わり、来週から12月となります。12月は師走とも言われますが、その語源には諸説あって、明確に定まってはいないようです。

<師走のおもな語源>

- ・師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月であることから（師馳す）
- ・「年が果てる」の意味の「年果す（としはつ）」から変化したとする説
- ・「四季果てる月」を意味する「四極（しはつ）」からとする説
- ・「一年の最後に為し終える」の意味の「為果つ（しはつ）」からとする説



いずれにしても、「一年が終える」という意味は共通しているように思います。

平成30年（2018年）も残すところ1ヶ月です。1年を終えるに当たって行われる日本の年中行事としては、事始め（12/13）、冬至（12/21）、クリスマス（12/25）、正月飾り（12/26～12/28）、大晦日（12/31）などがあります。クリスマスは元々キリスト教の風習ですが、それ以外は日本古来のものです。それぞれ、様々な意味や願いが込められています。詳しくは、次号以降で紹介したいと思います。

なお、12月のおもな行事予定につきましては、小川中学校のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
12月 3日	月	○	放送朝会 ALT来校 安全点検
12月 4日	火	○	カウンセラー・ALT来校
12月 5日	水	○	ノー部活デー ALT来校
12月 6日	木	○	ALT来校
12月 7日	金	○	ALT来校
12月 8日	土		いわき志塾（中央台公民館12：30～）